

1. 化学物質等及び会社情報

製品の特定

化学物質等の名称：ローヤルアロー 撥水シャンプー

製品分類：

主な用途：自動車外装の洗浄、艶出し、撥水

2. 会社情報

会社名：株式会社ユーエスシー

住所：東京都府中市日鋼町1番1

担当部門：営業1部

担当者：

電話番号：042-351-0011

FAX番号：042-351-0010

緊急連絡先：

電話番号：

作成者：

e-mail：

改定日：2022年 5月24日

2 危険有害性の要約

最も重要な危険有害性及び影響

GHS 分類

急性毒性（経口） 区分4

皮膚腐食性／刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1

水生環境有害性 短期（急性） 区分3

水生環境有害性 長期（慢性） 区分3

※上に記述のないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」

GHS ラベル表示

・絵表示またはシンボル：



注意喚起語

危険

危険有害性情報

●飲み込むと有害

●皮膚刺激

●重篤な眼の損傷

●水生生物に有害

●長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

<安全対策>

*使用前にラベルをよく読むこと。

*全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

*上記用途以外には使用しないこと。

*取扱い後手をよく洗うこと。

*この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

*保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

*環境への放出を避けること。

<応急措置>

*火災の場合：消火するために水（噴霧）、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他〔耐アルコール性泡消火剤〕を使用すること。

*飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

*皮膚（または髪）に付着した場合：多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

*眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

<保管及び廃棄方法>

*子供の手の届かない所に施錠して保管すること。

*容器の保存は、日光を遮断し、必ず密栓し、温度40℃以上になる所、水周りや湿度の高い場所には置かないこと。

*容器の廃棄の際は、中身を使い切ってから捨てること。

*内容物や容器を廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量mass%	CAS No.	化審法No	安衛法No	PRTR法.	毒劇物法
変性シリコーン類	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
ノニオン系界面活性剤	4～5	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
グリコール類	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
防腐剤	微量	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
着色剤	微量	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
精製水	バランス	7732-18-5	—	非該当	非該当	非該当

注) 化審法No. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

安衛法No. 労働安全衛生法（安衛法）第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

PRTR法No. 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の政令番号

毒劇法No. 毒物及び劇物取締法の政令番号

4 応急措置

一般的な措置

- ・気分が悪いときは、医師の診察 手当てを受けること
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 手当てを受けること
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること

吸入した場合

- ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること

皮膚（又は髪）に付着した場合

- ・直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと、皮膚を水又はシャワーで洗うこと
- ・皮膚に付着した場合：大量の水 適切な薬剤で洗うこと
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 手当てを受けること

眼に入った場合

- ・水で数分間注意深く洗うこと。コンタクト水で数分間注意深く洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- ・無理に吐かせないこと。
- ・直ちに医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特になし。

5 火災時の措置

本品は不燃物質なので特別な設備などは必要としない

消火剤 水（噴霧）、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他〔耐アルコール性泡消火剤〕を使用すること。

使ってはならない消火剤 該当せず

特有の危険有害性 燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する

消火を行うものへの勧告

特有の消火方法

- ・ 関係者以外は安全な場所に退去させること
- ・ 漏洩した場合、着火源を除去すること
- ・ 霧状水により容器を冷却する
- ・ 安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護すること
- ・ 消火水の下水への流入を防ぐ

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

- ・ 防火服又は防災服を着用すること
- ・ 保護手袋 保護衣 保護眼鏡 保護面を着用すること
- ・ 消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 漏出防止、除外などの作業は、必ず、保護具を着用する。

環境に対する注意事項 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和などの浄化の方法

多量の場合

土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。

その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。回収して適当な容器に入れる。

少量の場合

ウエス、おがくず等に吸収させて空容器に回収する。残りは多量の水で洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

ガス ミスト 蒸気 スプレーを吸入しないこと

ガス ミスト 蒸気 スプレーの吸入を避けること

（火災・爆発の防止）

熱、高温のもの、火花、裸火及び他着火源から遠ざけること。禁煙

（局所換気、全体換気）

排気 換気設備を設ける

（注意事項）

皮膚に触れないようにする

眼に入らないようにする

安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること

保護手袋 保護衣 保護眼鏡 保護面を着用すること

指定された個人用保護具を使用すること

接触回避

強酸化性物質との接触を避けること

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと
- 施錠して保管すること
- 安全な容器包装材料 データなし

8 ばく露防止措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

情報なし

ばく露防止

設備対策

- 排気 換気設備を設ける
- 洗眼設備を設ける
- 手洗い 洗顔設備を設ける

保護具

- 呼吸用保護具 呼吸用保護具を着用すること
- 手の保護具 保護手袋を着用する。推奨素材：非浸透性もしくは耐化学品ゴム
- 眼の保護具 側面シールド付き安全眼鏡又は化学品用ゴーグルを着用する
- 皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用する
- 繰返し又は長時間取扱いの場合、耐浸透性の保護衣とブーツを着用する

9 物理及び化学的性質

外観	薄青色微濁液体
臭気	微香臭
比重	1.01 (原液 20℃)
pH	中性
溶解性	水に溶解する
引火点	引火しない
爆発限界	該当せず
蒸気圧	データなし
可燃性	燃焼せず
発火点	発火しない
酸化性	なし

10 安定性及び反応性

化学的安全性

通常の保管条件 取扱条件において安定である

危険有害反応可能性

特になし

避けるべき条件

高温、凍結

混触危険物質

特になし

危険有害な分解生成物

情報なし

11 有害性情報 (GHS 分類の根拠を記載)

製品についての有害性情報はないため、成分についての有害性データを示した。

シリコン類 : 現時点では、通常に取扱いによる有害性は確認されていない

ノニオン界面活性剤

急性毒性

経口 ラット LD50 200~2000 mg/kg (類似物質)

皮膚腐食性 データなし

皮膚刺激性	刺激性あり（ラビット OECDガイドライン404）（類似物質）
眼刺激性	眼に重篤な障害を及ぼす危険性があるラビット OECDガイドライン404）（類似物質）
呼吸器・皮膚感受性	データなし
生体細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
IARC	リストアップされていない
日本産業衛生学会	リストアップされていない
生殖毒性	情報なし

グリコール類

<ヒトに対する影響>

急性毒性

経口 情報無し

皮膚腐食性・刺激性

皮膚刺激性 腿の内側の皮膚に直接1mlのPGを5～15分間1回もしくは12日間繰り返しつけた場合には刺激性はなかった。ガーゼに1mlしみこませ医療用テープでガーゼを完全に覆い、5～15分間貼付した場合には薄い赤色斑がみられた。背中の皮膚に1、3、10または30%水溶液をしみ込ませたガーゼを医療用テープで完全に覆い24時間毎に新しいものと交換しながら3週間にわたり貼付したところ、10および30%水溶液で刺激性が見られた。精度は不明だが、上記と同様の3週間貼付試験を10人のボランティアの背中の皮膚を用いて行ったところ、1人に疑陽性反応が見られた。

重篤な眼の損傷・眼刺激性

眼に対する障害作用はないが、眼に液が入った場合、一過性の痛みや目蓋の痛み、流涙が見られるかもしれない。

呼吸器・皮膚感受性 20%水溶液で少数（1.5%）の人が陽性と報告されたが、2%水溶液で陽性反応を示す人もいる。

生体細胞変異原性 情報なし

催奇形性 情報なし

発がん性 情報なし

IARC リストアップされていない

日本産業衛生学会 リストアップされていない

生殖毒性 情報なし

その他

成人への影響 医療用治療剤の溶媒としてPGを5.1～21.0g静脈内投与した場合、血液中からの平均消失半減期は2.3±0.7時間であった。また、血液中の乳酸濃度や静脈のpH、血漿の浸透圧、ヘモグロビン量などに影響は見られなかった。PGを尿中に排泄できない腎不全患者に、中枢神経への影響が見られた例が報告されている。

化粧品中への使用濃度は50%までは安全であると報告されている。

子供への影響 医療用治療剤の溶媒としてPGを長期間または大量に使用したことによる瘡や身体性毒性、高浸透圧症などの報告があるが、治療により完治した。

<動物を用いた実験>

急性毒性

経口 ラット LD50 20000mg/kg

経口 マウス LD50 22000mg/kg

有害性低い

皮膚刺激性・腐食性 モルモット、ウサギ、ミニブタの皮膚に希釈していない液を塗布しても刺激性は見られなかった。

重篤な眼の損傷・刺激性

ウサギに直接点眼した場合、一過性の結膜充血が見られた。また、角膜上皮細胞を取り除いたウサギの眼に50%水溶液を5分間入れたが障害は見られなかった。

呼吸器・皮膚感受性 情報なし

生体細胞変異原性 サルモネラ菌 TA100、TA1635、TA1637およびTA98

またはサルモネラ菌TA92、TA1536、TA100、TA1537、TA94およびTA98を用いた微生物を用いた染色体異常試験は陰性であった。チャイニースハムスター肺繊維芽細胞を用いた染色体異常試験は32mg/mlと言う著しい高用量（浸透圧420.5mM 最新の試験法ガイドラインの限界容量10mMの42倍、この濃度ではショ糖や食塩でも陽性を示す）で擬陽性または陽性であった。シリアンハムスター胎仔初代培養細胞を用いた形質転換試験

	は陰性であった。
発がん性	50000ppm (2.5g/kg 体重/日 相当)を投与したラットの2年間濃餌投与試験および50000ppm (2g/kg 体重/日 相当)を投与したイヌの2年間濃餌投与試験でも発がん性は認められなかった。
生殖毒性	ラットおよびマウスの皮膚反復塗布試験でも発がん性は認められなかった。 マウス2世代繁殖毒性試験で、PGを5%まで飲水に混じて投与しても親にも仔世代にも繁殖および生殖に対する影響は見られなかった。 10%水溶液0.2mlを、交配前から妊娠期間中まで雌ラットに経口投与した。母胎や胚に奇形影響は見られず、催奇形性も見られなかった。 妊娠8日から12日目までの5日間、雌マウスにPG10000mg/kg/日を経口投与しても催奇形性を認められなかった。 ニワトリの胚の卵黄中にPG0.05mlを注入した場合でも、変化は喚起されなかった。
その他	6250~50000ppmの濃度で30匹のラットに15週または2年間程餌投与したが、コントロール群との間に差異は見られなかった。 NOAELは50000ppm (2.5g/kg 体重/日 相当)と考えられた。80000ppmの濃度で雄雌各5匹にビーグル犬に2年間程餌投与したが、重大な影響は見られなかった。NOAELは80000ppm (2g/kg 体重/日 相当)と考えられた。 1群雄雌各10匹のラットに0.16~2.2mg/lの濃度で1日6時間、1週6日間の割合で13週間鼻部ばく露した。試験後半に2.2mg/l群の雌で授餌量の減少に伴う体重減少が認められた。いずれの群においても呼吸機能や臨床検査項目に影響は認められなかった。鼻粘膜の胚細胞もしくは胚細胞に含まれる粘液量の増加が1.0mg/l以上の群に認められたが、機関や肺に変化は認められなかった。NOAELは1.0mg/lと考えられた。

12 環境影響情報

製品についての有害性情報はないため成分についての有害性を示した。

変性シリコン類 現在の所、有用な情報なし

ノニオン界面活性剤

水性環境急性有害性

生態毒性 水性生物毒性 (藻類、72H) IC50 10~100mg/L
(ミジンコ、48h) BC50 1~10mg/L

水性環境慢性有害性 情報なし

残留性・分解性 生分解性良好

除去率 90%以上 BiAS (28d)、Mod. OECD303A)

除去率 >60% CO2 formation (28d、ISO DIS 9439)

生体蓄積性 情報なし

土壤中の移動性 情報なし

オゾン層有害性 情報なし

その他 0.1%水溶液 BOD5 540mg/L CODMn 500mg/L
N-ヘキサン抽出物 620 mg/L

グリコール類

水生環境急性有害性

生態毒性 魚毒性 金魚LC50 (24時間) 5000mg/l以上
グッピーLC50 (48時間) 10g/l以上

水生環境慢性有害性 情報なし

残留性/分解性 良分解 2週間で90%以上分解
THOD 1.685g O2/g

生態蓄積性 BOP 1以下

その他：甲殻類毒性 ミジンコ急性遊泳阻害 LC50 (24時間および48時間) 10g/l以上

13 廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。

排水処理により発生した廃棄物についても 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

14 輸送上の注意

国連分類 該当せず

国連番号 該当せず

陸上輸送 取扱い及び保管上の注意の項に従う。

海上輸送 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 航空法に定めるところに従う。

注意事項 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

15 適用法令

消防法 : 該当せず

労働安全衛生法 : 該当せず

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

PRTR 法 : 該当せず

16 その他の情報

引用文献

・GHS 対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト

中央労働災害防止協会

・J I S Z 7 2 5 2 「GHS に基づく化学物質などの分類法」

・J I S Z 7 2 5 3 「GHS に基づく化学品の危険性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の促進に関する法律施行令（化管法）」

*注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者を提供されるものです。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処理を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

したがって、本データそのものは、安全の保証書ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
